名　称	説　明	只見	奥三面	羽村	沼津	徳山	滋賀	鹿児島	沖縄	さまざまな呼称	備考
手工用具											神野善治
むしろばた 筵機	筵類を織る。本体は井桁状の枠組みと、それを支える台からなる。枠には経糸にあたる40数本の細縄を木製の筬（おさ）を通して張り、横糸にあたる藁しべを通して、筬で打ち込んで織る。	ムシロオリ、ムシロバタ			ムシロバタ、ミシロバタ	ムシロバタゴ、ハタゴ	ムシロバタ、ムシロオリ	ムシトバタ	ムシルバタ、ムシルヤーマ	【筵を織る機】はたご　以上、『標準語引き方言辞典』（佐藤亮一） 【筵織台】はたご・むしろばたし　以上、『標準語引分類方言辞典』（東條操篇）	
たわらあみ 俵編み	俵や薦（こも）を作製する編台。コモアミ、アミダボウ、コモゲタともいう。桁と脚で構成され、編む時の付属用具として錘を兼ねた糸巻（薦槌）を用いる。	コモアミダイ、コモアミ			タワラアミダイ	アミダイ、マタ、ウマ、ハタゴ、ツチノコ	タワラアミダイ、コモアミ	コモガキ、ダッアン	タンプーヤーマ	【こもを編む道具】こま　【炭俵を編む道具】うし　以上、『標準語引分類方言辞典』（東條操篇）	
おもり 錘	糸巻きを兼ねた錘。俵や菰、背負い袋を編むときに俵編みと共に用いる。ツチノコ・ツツロなどという。				オモシ	ツチラコ、ツチノコ、トットロコ	ツチノコ、オモリ	ツッノコ			
わらうちつち 藁打槌	藁細工のとき藁を叩いて柔軟にする木槌。床に埋めた藁叩き石の上で藁を打ちつけた。ヨコヅチ、ツチンボなどという。	ヨコヅチ		ツチ	テヅチ、ツチ	ツチ、ヨコヅチ、ワラタタキツチ	コヅチ、ヨコヅチ	ワラウツゴロ、ワラウチゴロ			
わらすぐり 藁選り	藁のハカマ（下葉）を除去する道具。手形の股木、厚板に何本か切り込みを入れた櫛状のもの。千歯扱きの歯を利用したものがある。	ワラスグリ			ワラスグリ、マンガ	ワラスグリ	ワラスグリ	ワラスグイ	シピトゥイ		
なわないき 縄綯機	木枠下部の足踏み装置で連結する車を回し、木枠上部に取り付けた撚りかけ装置、巻き取り装置に、2個のラッパ状の受け口から藁を挿入して綯い、ドラムに巻きとる。				ナワナイキ	ナワナイキ、ナワナイキカイ	ナワナイキ	ナワネイ、ギッチョ			
わらじあみだい 草鞋編み台	草鞋や草履を編むのに用いる。薄板の先に心縄を掛ける棒を2本あるいは3本、やや後ろに角度をつけて斜めに立てた道具。それぞれの家で自製した。	ゾウリダイ				ゾオリダイ、ゾウリツクリノキカイ、ゾウリツクルダイ	ゾウリツクリダイ、ゾウリアミダイ	ゾオリダイ、フッカケ			

※備考欄にはあなたの地域の呼称を記入してください